

明るい住み良い環境造りに日夜御努力されている市理事者並びに議会の皆様に対し深く感謝いたします。

さて、私達の住んでおります武蔵野台即ち市道七〇八号、二一四号と交叉する附近一帯は降雨のたびに床下浸水し道路は一面海の如くなり、又国道一六号からの雨水が七〇八号線のマンホールに流れこみ噴水の如く吹き出し、日常生活にも支障をきたしており、十年らしいのなやみでございます。

冬期はともかく、これからの雨期を迎えより一層不安を感じますので、是非現地ご視察の上、側溝の改修増設を計られますよう心からおねがい申し上げます。

昭和四十七年二月二十八日

請願者代表

住所 福生市熊川一四〇九番地

氏名 芝 田 伊 八 印

他 百十一名

福生市議会議長

末次 性男 殿

請願所

教習所

国道一六号

カブリンスクエア

208号

191号

立休

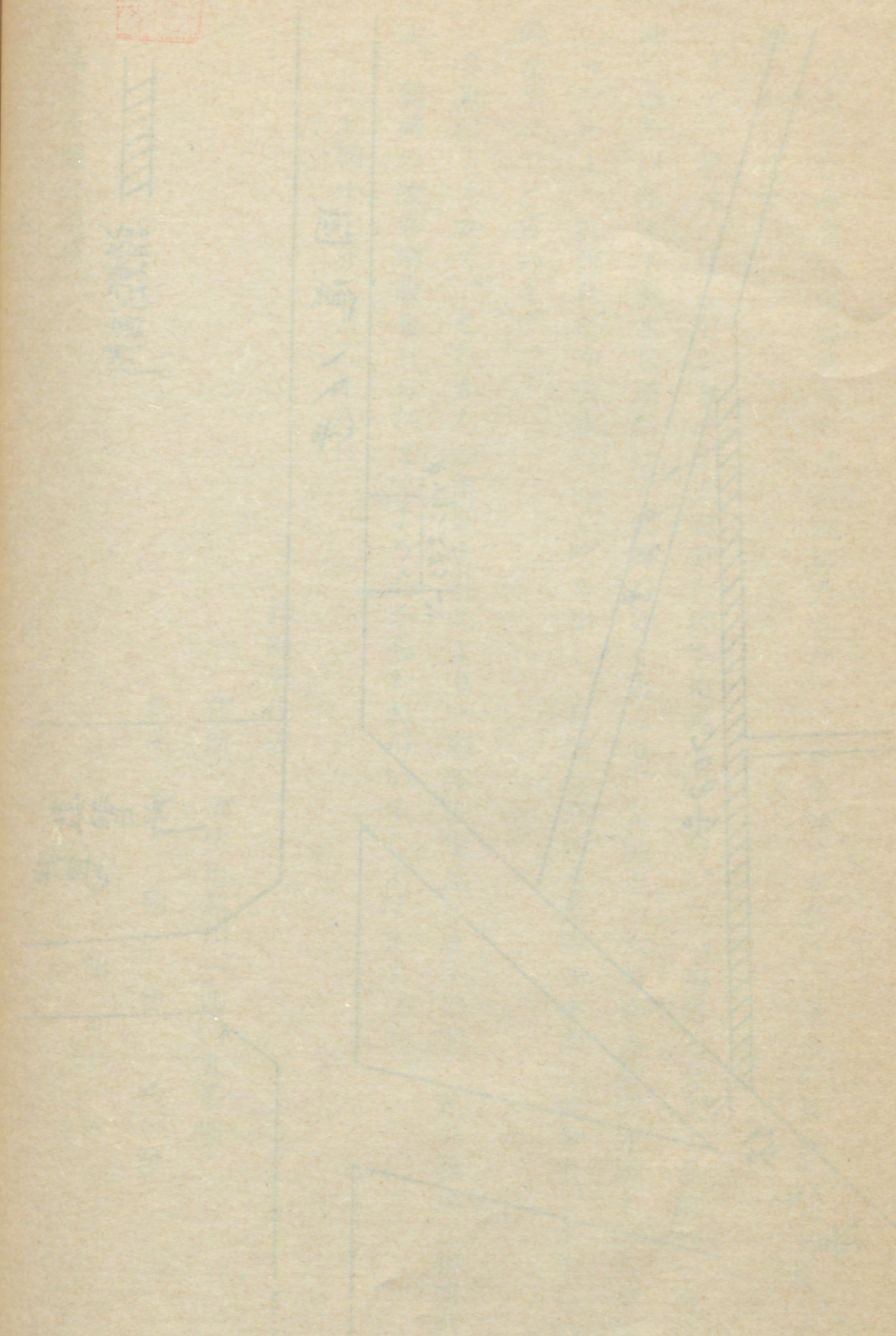
入

請願第三号

道路新設に関する請願書

紹介議員

石	宇	小
川	佐	林
繁	美	才
治	良	治
①	①	①



請願の理由

充実した都市建設と市民生活向上のため日夜努力下さる貴議会議員の皆様に対し心より感謝申上げる次第でございます。拝島駅東地区には十有数の工場がありこれ等に通勤する者と当地区内住民の都内などに通学通勤する者を合せ毎日四〇〇―五〇〇人が拝島駅東口を利用して居りますが駅に至るためには道路が大きく迂回しており基地引込線路上を通れば半分以上の距離ですむため実際には此の線路上を歩いて通う人が殆んどです。

併し此の線路上は万一事故が起れば外国領土なみに扱われて居る基地の一部であるため補償どころか罰せられる事になるかも知れません。また一度火災などの緊急事態が発生した際には消防車の進入路も無い現状であります。此の状態をみかねて此のたび町内の奇特な方より基地引込線の鉄橋に沿つて橋が架設寄贈されることになりましたので此の橋から五日市街道に至る区間に道路を新設し、引込線路上を歩くという危険を無くし、尙当地域の発展を促進して載くことこそ地区住民の強く要望するところで御座います。どうか貴議会の特別の御配慮と御理解とにより現地調査の上善処下さるよう玆に連署を以つて請願する次第で御座います。

昭和四十七年三月一日

請願者

福生市熊川四三〇

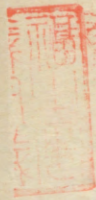
武蔵野町会長 小山 勇五郎 印

福生市熊川一五九七ノ六

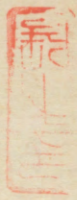
有志代表 武田 平 印

外一七九〇名

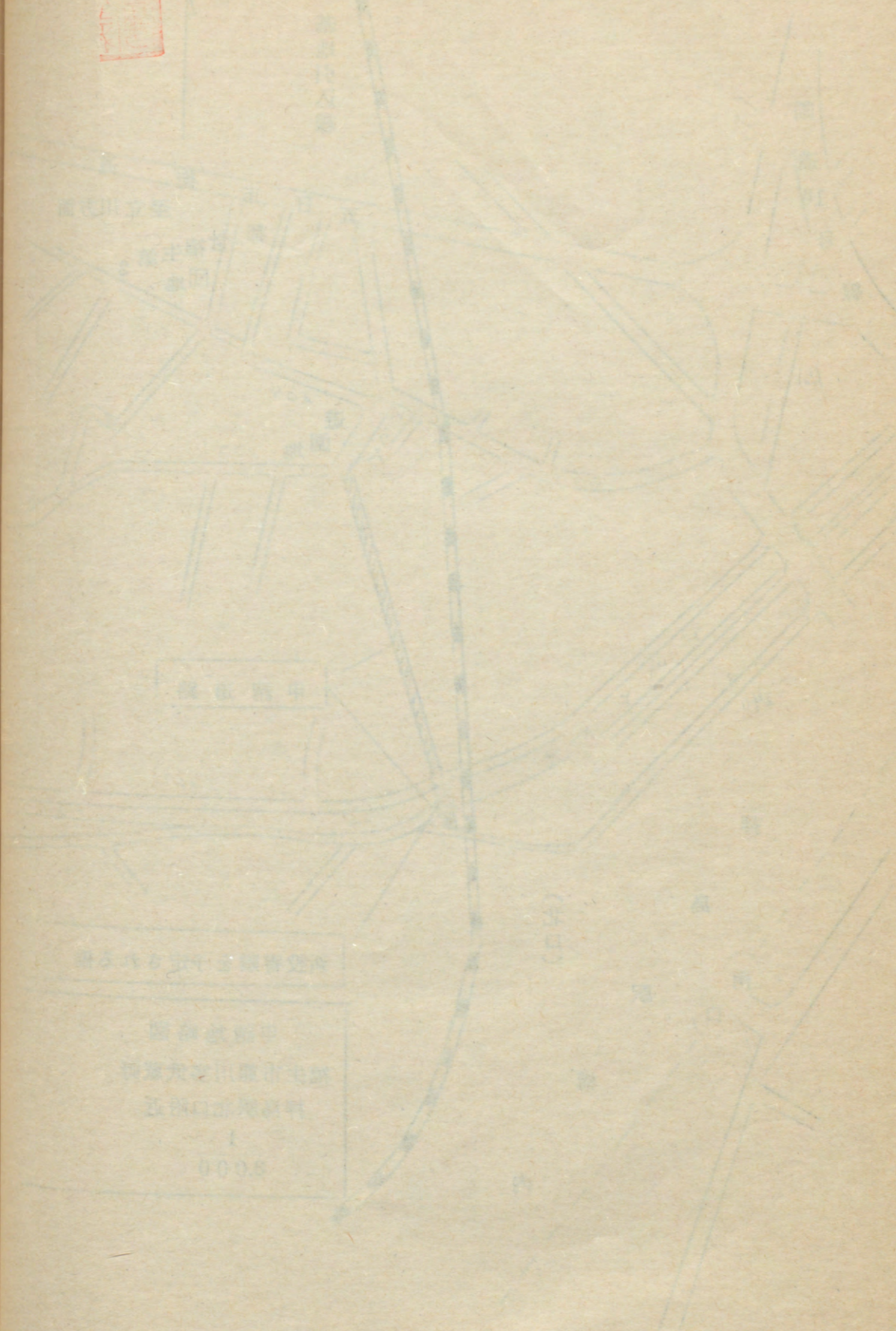
福生市議会議長 末次性男 殿



陳情第一号



し尿並びに浄化槽より生ずる汚物に対する終末処理場増設に
関する陳情書



謹啓 時下益々御清栄のことと御慶び申し上げます。

清掃事業につきましては、その特殊性を御理解下さいまして毎々格別の御高配を賜り深く感謝申し上げます。

生活環境の整備は国民生活の基幹であり特にし尿並に浄化槽の清掃により生ずる汚物の処理は日常生活に一日も放置し得ないのであり、我々清掃業者は永年に亘り市町村に代り住民生活安定のため一筋に業務に打ち込み今日まで尽してまいりましたが年々人口の増加と共にその処理量も増加の一途をたどり只今のところ終末処理の能力も限界に来ており毎日の投入量も制限せられ過剰分については業者が各独自において適当に処理しおる現状であります。

このまま推移するなれば不法投棄もやむなきに至り環境をいちぢるしく汚染し社会問題となるおそれある実情であります。

私共業者としてこれ以上現状のまま業務の遂行は不可能と思考致しますので、貴市においても一日も早く私共業者が安心して作業し得られるよう、御審議の上、速に御高配を賜り度業者連名にて陳情致します。

昭和四十七年二月十二日

東京都福生市福生一〇三四番地

福生清掃社 代表 瀬 古 周 吉 印

東京都西多摩郡秋多町草花二八三一番地

島田産業 代表 島 田 金重郎 印

福生市議会議長

末 次 性 男 殿



福監発第 3101 号

昭和47年2月29日

殿

福生市監査委員

山下 久吉 (印)

塩野 鉄之助 (印)

1 月分例月出納検査実施結果報告

このことについて、地方自治法第235条の2第3項の規定により、つぎのとおり報告します。

1. 実施日時 昭和47年2月28日(月)

午前9時30分から午後5時00分まで

2. 場 所 福生市役所第2庁舎会議室

3. 出席者 山下 久吉 塩野 鉄之助

4. 検査対象

(1) 昭和46年度福生市一般会計

(2) 昭和46年度福生市国民健康保険特別会計

(3) 昭和46年度福生市福生都市計画福生土地区画整理事業会

計

- (4) 昭和46年度福生市公益質屋会計
- (5) 昭和46年度福生市公共用地会計
- (6) 昭和46年度福生市用品調達基金
- (7) 昭和46年度福生市公益質屋基金
- (8) 昭和46年度福生市土地開発基金
- (9) 昭和46年度福生市水道事業会計
- (10) 昭和46年度福生市と畜場会計

5. 結 果

各会計ともお、すね良好と認める。特に市税の賦課並びに徴収率をあげようとしている職員の熱意は相当なるものがある。市理事者は、関係職員はその熱意に対し謝意を表するよう望むものである。

今後ともより一層の努力を望むものである。

昭和47年 1 月 分 歳 入 歳 出 調 査 (昭 和 4 6 年 度)

会計別	区 分	1 2 月 末 有 高	歳 入	歳 出	1 月 末 有 高
一 般 会 計		214,622,161	82,886,700	107,701,079	189,807,782
国民健康保険会計		28,526,655	6,450,298	15,431,767	19,545,186
公益質屋会計		367,795	160,904	271,056	257,643
と 畜 場 会 計		102,051	3,815,220	3,067,045	850,226
都市計画福生市土地整理会計		121,358,038	1,645,120	1,365,167	12,415,756
公共用地会計		21,239,266	921,915	△ 210	3,046,051
用品調達基金会計		321,699	6,645,554	680,438	305,815
公益質屋基金会計		639,600	1,550,800	1,634,700	555,700
土地開発基金会計		96,504,160	0	0	96,504,160
小 計		355,343,850	98,095,511	130,151,042	323,288,319
水道事業会計		18,308,674	11,585,918	13,885,455	16,009,137
合 計		373,652,524	109,681,429	144,036,497	339,297,456

福総発第三一四〇号

昭和四十七年三月八日

福生市議会議長

末次 性 男 殿

福生市長

石

川

常太郎

印

議案の訂正について

昭和四十七年第一回福生市議会定例会に提案する議案について、つぎのとおり訂正したのでよろしくお取り計らいくださるようお願いいたします。

議案番号	訂正箇所	方法	誤	正
九	条例文書三行目最后尾	抹消	「	
十四	条例文書第二条第一号	訂正	第二条	第二条
〃	条例文書第十一条第三項	〃	前条	第九条
十八	三八頁説明欄下から四段目	〃	30,000	50,000

十八	三八頁説明欄下から二段目	訂正	43,000	23,000
"	一三九頁国(都)支出金欄	抹消	200	空欄
"	一三九頁一般財源欄	訂正	1,041	1,241
"	一四一頁国(都)支出金欄	加入	空欄	200
"	一四一頁一般財源欄	訂正	3,496	3,296
"	一七五頁節の区分欄	"	委託料	役務費
"	二一五頁説明欄下から三段目	"	吹奏学用楽器購入代	吹奏楽用楽器購入代

第一回福生市議会定例会会議録 (第二号)

昭和七年三月十日福生市議会議場に第一回福生市議会定例会が開会された。
出席議員は次のとおりである。

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| 一番 貴井孝次 君 | 二番 小松菊三 君 | 三番 小松万次 君 |
| 四番 田村市郎 君 | 五番 川端清一 君 | 六番 中島根康 君 |
| 七番 岸坂美良時 君 | 八番 吉岡一三 君 | 九番 志村秀雄 君 |
| 十番 松山 清 君 | 十一番 伊東中次郎 君 | 十二番 森田孝雄 君 |
| 十三番 石川繁治 君 | 十四番 小松陽吉 君 | 十五番 木次慎男 君 |
| 十六番 高坂中七 君 | 十七番 関 木吉 君 | 十八番 中里元一 君 |
| 十九番 大野行夫 君 | 二十番 宮沢良一 君 | 二十一番 岩田博 君 |
| 二十二番 田村匡雄 君 | 二十三番 後野鉄之助 君 | 二十四番 石川隆義 君 |

一、欠席議員は次のとおりである。

一、欠員は次のとおりである。

第一定

一般質問 (石川屋)

一般質問 (松山)

一般質問 (中島)

一般質問 (志村)

一般質問 (森田)

一般質問 (木次)

一般質問 (岩田)